（第三種郵便物認可）（昭和五年三月廿一日）

昭和十年十二月七日　〔日刊〕　新いわき　〔土曜日〕　第一千六百三十九號　（一）

十二月六日　夕刊

日刊　但日曜祭日翌日休
一ヶ月二十五錢
郵稅十五錢一部二錢
廣告料一行四十錢
場所指定　貳拾錢增
發行所　福島縣平町大町二三
新いわき新聞社
岩井勇治郎
牛谷政亨

入山第二坑の復活
超急テンポな首途
殘量百五十萬噸以上を見込む
出炭は本月末頃からか

入山採炭が業異の活況に事業を擴めて川平第二坑の再堀計畫を立て一瀉千里の準備中であることは既報の如く同坑の返り咲きは吉田所長並びに大貫副所長の平常に間隙なきを示すもので過ぐる不況の砌り收支關係に於て休山したる同坑を時期到來の再起に處して排水補修に手を緩めなかつた周到が果然今日を見るに至つたものと云はれてゐる而して同坑の復活は單に入山そのものゝ利と云ふのみでなく近年常磐炭の出炭減によつて動ともせば其の量的の權利繼續を失はんとする一角の保持上にも業界に寄與する所多きを喜ばれてゐるが右第二坑に殘る炭量は本層の如きも相當に殘存し上層九尺、下層四尺の採堀可能實に百五十萬噸以上を見込まれ既に本坑道の小破損修理に着手した同坑の出炭は目下撰貯炭場及び坑夫長屋その他の建設に鑿の音も勇ましく諸機械の設備等にも全力を上げて急いでゐるので豫定の通り本月末には見られるであらうと斯て同坑の首途には坑内作業も比較的樂であり茨城炭の短層に從事した善良な坑夫の使役を望んでゐるが順次に仕事を進める同坑の復活は此の點に於ても容易であらうと云はれてゐる

計畫の變更で減額
小川江の改良工事
三萬八千九百三十九圓から
四千三百圓を減少する

石城郡小川江筋組合に於ける本年度から施行の改良事業は去月十六日の臨時總會で三万八千九百三十九圓を可決直ちに着工の手筈を取つてゐたところ縣に於ける財政計畫が變更されて四千三百圓を減額する三萬四千六百三十九圓となつたので豫算の全面的に狂ひを來たし來る十日午前十時重ねて組合議員の臨時總會を招集の筈であるが議案は右に伴ふ右の諸件である

組合債及び償還方法變更
改良事業費寄附命繼續年期
支出方法變更　同事業國庫補助立替支出　改良工事指定寄附　十年度豫算更正

同年度改良工事請負費歳入出更正豫算の諸件（以上）

小林所長の災害及縣道編路調査

石城郡内郷村の宮川及び白水川は去る十月末の豪雨による慘害を受けてゐるが右に對して小林平土木監督所長は今六日實地調査をなし尚ほ同村内の縣道編入につき詳細なる踏査をなした

漸く容れられた
蛭田川の改修
廿万圓の補助決定に喜ぶ部民

石城郡南に於ける蛭田川は降雨毎の出水に濁流土手を越えて附近一帶の耕地を荒し其の被害上流勿來町に及ぶ字梅木田、境、窪田、關田に亘る浸水の慘害を繰返してゐるので多年部民を擧げて改修方を陳情の結果同河口から上流勿來町大字窪田に及ぶ延長一里半の該工事に六十万圓を見込み十一年度に於て十萬圓を施工すべく立てた計畫が今回愈よ主務省に容れられて二十萬圓の補助決定に當年度三萬五千圓の交付あるを報ぜられ部民に非常な喜びを與へてゐる

補助に喜ぶ
平と江名

新川の改修と漁港の擴張に

石城郡内に於ける河川の補助は別項蛭田川の外に平町の懸案たる新川改修にも同じく二十萬圓を決して當年度三萬五千圓を交付される模樣であるが尚ほ東北救濟事業として江名町江名の漁港修築にも初期の工事に三萬五千圓を交付されるものゝ如く同港の第二期計畫は總工費五十萬圓を豫算されるもので地元では右の公報に接すると同時に地元負擔を整へ擴張工事に着手すべく非常な滿悅の中に其の手筈を取つてゐると

海波逆流の砂山で
仁井田川口を閉塞
河水の氾濫に浸水する耕地
大浦村長から改修陳情

石城郡仁井田川が海に注ぐ横川の河口は海波に打寄せられる逆流で築かれる砂山に閉ぢられて河水の氾濫が耕地を浸水する被害甚大の爲め毎年春秋二回は定まつて之れを開鑿せねばならぬ俗に云ふ前堀に消防組その他が少なからぬ勞力を犧牲にしてゐるが近年は殊に潮流の關係で閉塞の度數を増し被害地部民の出役が容易でなく且つ完全なる河口の改修を施さゞれば河水に滯水に泥砂を止めて河床を高め水草の繁生が之れを助長し益々被害の範圍を擴大する恐れがあるので右の起工を困難とすれば消防組等の開鑿出動に應分の補助を給して貰ひたいと今六日午前同村長木村清治氏から小林平土木監督所長に次第を訴ふる所があつた

常識講座

アクションは動作または作用の謂だ。アクシデントなら事變或は出來事、偶發事の類を指しアクション●プログラムは前記の動作行動の綱領を即ちプログラムしたものである、

創設十周年を迎ふ
石城販利の記念式
各關係者三百四十名を招き
八日四倉市場で盛大に

石城郡販賣利用組合に於ける創設十週年記念式は既報の如く明後八日午前十時から四倉驛前の組合經營繭市場で擧行される當日の招待は創立以來努力を受けてゐる町村長及び前役員並に顧問、各町村技術員、農會長等の外縣からは經濟更生、農務の兩課長同副業主任、縣信聯會長專務及び主事、信用中央會福島支會長主事、縣購聯會長專務及び主事並に同組合創立の提唱者元石城郡産主事尾形治右工門等々三百三十八名を算するもの〻如く會場に充てる繭市場脇廣場の天幕下に席定まる定刻同會幹部の開辭に次へで組合長水野虎三郎氏の式辭、菜種搾油工場工事報告、同工場請負者功勞表彰を終り來賓の祝辭組合長の謝辭並に閉會の辭あつて市場の屋内に祝賀の宴を張ることになつてゐるが出席者一同に記念品を贈る由

馬匹の衛生施設に
冷害凶作地へ補助
石城の該當町村に三千頭以上
病馬の治療と保健劑給與

本年の冷害凶作に對する救護施設は被害町村に夫々の方法を講じられてゐるが主務省では今回更に馬匹の衛生施設に補助を與へられる筈で縣は其の補助額に準じ適當の案を立てることになつてゐる大体の方法は病馬の治療及び保健劑の給與を無料で行ひ馬の衛生保健に關して救濟をなすもの〻如く石城産馬組合では該當町村に約三千頭の馬匹を見込み縣の指令に應ずる巡回健診その他につき準備中であるが公報は本月下旬頃になるであらうと

鐵道クラブの
劍道試合

今年初めての催

平鐵道倶樂部では從來會て試みなかつた鐵道從事員の第一回劍道試合を倶樂部の主催で來る八日午前十時から平警察署演武場に於て催されるが出場劍士は有二段者を最高として二十餘名に達するらしく試合は三人抜き五人抜きの後紅白合戰を行ふ筈で審判は平署の鈴木忠正部長であると

感冒豫防の注意

平町の各小學校では最近期節的の感冒が流行し初めたので各家庭と兒童に對し豫防上の注意を懇切に示した

赤井校長住宅

石城郡赤井村では校長住宅建築を計畫されてゐたが愈よ本工に着手し明後八日午前十時上棟式を擧行の筈で當日は同窓會及び青年消防組員有志の手傳へで賑ふ由

平青年の視察

平町青年團の修養部及び同体育部では來る八日石城販賣利用組合に於て十周年記念式を擧行する當日四倉町磐城セメント工場を視察の途上都合を得れば右組合經營の菜種搾油所をも見學する由

遺書を懷中に
無斷家出

仲間喧嘩から

石城郡内郷村の金坂四五菓子製造業吉田照秋方の徒弟同郡川前村の椚台德二長男金田正一（一八）は昨五日弟子仲間と喧嘩したことから午後無斷家出し同日午後九時頃平町驛前を漂浪してゐる擧動不審のため派出所の鈴木部長に連行本署の取調べを受けた結果懷中に自殺を覺悟の遺書樣のものを所持してゐるので當夜保護今六日朝説諭の上主家の迎ひに引渡されたが正一は性來小心な男で何を氣にしても自殺の口吻をもらし携へた書置樣のものも古びて摺れ〳〵になつたものである

新史　蹟抄

三箱の湯本城趾に就て　（1）

吉野朝臣廣橋經泰が常奥海道經略の本據（勿來學人）

はしがき

奥羽に於ける吉野朝の四大忠蹟は、多賀（宮城郡）の國府伊達の霊山、白河の搦山、田村の字郡峯で、此等に據れる勤王家に就きては、近世既に水戸光圀、松平定信の大義名分に依つて、天下に周ねく表識されたが、猶大小の關係遺跡を指呼すると算えるに遑ないのは勿論である。然し當時東北の王業樹立に際して、最も重視せるは常野奥總間の官軍が連絡の據奪であり、從つて其の攻守本據の支持であつた。

勿來關外に於ける之が最要の所は、三箱の湯本城なること、豫が曾て昭和七八年頃、結城宗廣の事歴を研究する傍ら、附帶的に之を發見したので、昨夏實地に探求し、今年正月再び之を精査し、序いで東北の王業樹立に際して、最も重視せるは常野奥總間の官軍が連絡の據奪であり、從つて其の攻守本據の支持であつた。

勿來關外に於ける之が最要の所は、三箱の湯本城なること、豫が曾て昭和七八年頃、結城宗廣の事歴を研究する傍ら、附帶的に之を發見したので、昨夏實地に探求し、今年正月再び之を精査し、序いで東北の王業樹立に際して、最も重視せるは常野奥總間の官軍が連絡の據奪であり、從つて其の攻守本據の支持であつた。

勿來關外に於ける之が最要の所は、三箱の湯本城なること、豫が曾て昭和七八年頃、結城宗廣の事歴を研究する傍ら、附帶的に之を發見したので、昨夏實地に探求し、今年

屑米の利用厚生（2）

農試本場の同係

然るに本縣に於ける屑米利用の狀態は甚だ振はず昨年の如き凶作地方に於てさへ屑米の消費を喜ばず極めて安價に捨て賣りされたるを見て誠に惜しいと思つたのである、

昨年の屑米に就ては筆者も多少關心をもつて調査研究したのであるが何れも立派な利用厚生の途を有つてゐるから決して無駄にすることなく充分なる利用を希望する、以下農產ゐ報第二十一號所載屑米利用法を引用して一般讀者各位の御實行を促す次第である

屑米の性質及び主なる用途、

屑米の多くは青米の細または白細で之れに次へでは死米であるが一般に不整形であり不透明な鈍い白色か又は青色を呈してゐる、硬度は普通米の約半分位の硬さで比重は普通米に比して遙かに輕い、然しながら其の成分に於ては何等普通米と變ることなく却て多い位である、それ故に形狀や硬度色澤に就てのみ比較する場合には明らかに普通米に劣るがその用途によつては例へば碎いて用ひるとか粉にするとか加熱して處理すると言ふやうに形狀や硬度に構はぬ場合には屑米と雖も普通米と何等變りがなく同等の價値を有するものである、又形狀や色澤を問題にする場合に於ても特殊な用途或は加工法により立派な普通米と變らない役目を勤める事が出來る、

次に屑米の重なる用途を述ぶれば先づ粉末として即ちシン粉、白玉粉（寒晒粉）或はミジン粉として菓子、團子、粉餅、煎餅、落雁、等に用ひられ更に他の粉と混合して玄米パン、食パン、汁粉等の原料に供せられる、

慢自の品良優も豚も牛

肉の御用命は　三三屋　平町田町

正確なる　体温計　寒暖計（各種）
計量器指定販賣
平町五丁目角　山野邊藥局

祝七五三子供洋品陳列
●新型オーバー特價賣出し。
ツルヤ　平四番　電話一四〇

産婦人科院　外科　醫學博士　木村寅次郎
藥劑師　大岩俊雄　長　木村宗八
平町新川町九一　入院隨意　病室完備　木村病院　電話一六四番

入院應需　明雲堂眼科醫院　平驛前　電六六九番
●自炊の便あり●

便利で經濟な　日下家政婦會の
●派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
會員（同志）の御加入を御誘ひ致します　派出なき閑暇に裁縫や編物を御教授致します
平町字田町十八番地（西村屋横町）　日下家政婦會　會長　日下すい子　電話（呼）一八九番

耳鼻咽喉科專門　醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前　入院應需　鈴木醫院

毎度御引立を蒙り御厚情深謝致します、今回當店に於て貨物自動車部を新設し金成自動車部を專屬として三十五年式新車を以て貨物一般の運輸に從事致しましたから倍舊の御用命と御利用の程を偏へに御願上ます、

鐵道、貨物一般　小口取扱　清宮運送店　電話二六七番
貨物自動車運輸
親切　迅速　安全　第一
自動車の御用は……電話二六七番へ願ひます
金成自動車部

開院　五十嵐産婦人科醫院　醫學博士　五十嵐雄二　平町新川町一七　電話三七〇番　入院需應

マグネトロン
百萬の富より健康
此新療法で病弱を御試しなさい
『治療代』…は當分一回三十錢として居りますが御家庭の事情により割引も施療も致します
嘘か實か百聞一見御試し下さい
治療所　日中は城山樂園（電話一〇九）　日沒後は一丁目自宅（電話四七〇）
醫療士　飯田近治

診療科目
一、齒科　一般　保存科、補綴科、繼齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院　院長　日本齒科醫學士　中野惠次　日本齒科醫學士　西川誠
平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

祝七五三
御寫し遊ばせ
お子樣方の
可愛い御姿を
御寫眞に！
當日は御祝こして燒增を壹枚
御進呈致します
平町寫眞師組合
組合員名（いろは順）
林寫眞館　戸田寫眞館　岡山寫眞館　大野寫眞館　太陽寫眞館　中島寫眞館　ライト寫眞館　青木寫眞館　アサヒ寫眞館　齋藤寫眞館　サクラ寫眞館　三光館スタヂオ

鼻の諸病に快鼻湯　有効保證
本劑は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用藥並に內服藥を用ひ全治せざる方々及び手術後再發されし方々も本劑の服用により快癒された喜びの禮狀が各地から參つて居ります
効能　蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症、頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に神効の實證を受く
（快鼻湯）製劑販賣元　水野藥局　磐城平町一丁目（電話六九九番）　振替口座仙台（八八七六番）